



串木野市立
串木野中学校

黒潮

2月号

いちき串木野市立串木野中学校

「チーム串中」

令和5年2月1日(水)

3年生にエール！

学校長 森本 信一

早いもので、今年度も残すところあと2か月となりました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、三学期は1年の中で最も短い学期であり慌ただしく過ぎていきます。特に3年生にとっては9年間の義務教育を締めくくり、自分の進むべき方向が決まる大切な時期となりました。コロナやインフルエンザ等に対する感染対策をしっかりと図りながら、気持ちを引き締め、一日一日を大切に過ごしてもらいたいと思っています。

さて、今月号はその3年生を励ますために生徒会が中心となって計画した「3年生を励ます会」で話した内容を紹介します。

私からは、3つのキーワードで激励させてください。

まず1番目は「必ず春は訪れる」ということです。

3年生の皆さんは、今、進路の決定に向けて落ち着かないし、不安で心はいっぱいだろうと思います。私ももう何十年も前ですが、同じ経験をしてきましたので、皆さんの今の気持ちは理解できるつもりです。何をしてもくつろげないし、楽しむこともできないのではないのでしょうか。そして、今のこの気持ちがこの先もずっと続くような気持ちになっていませんか。

でも、必ず春はやってきます。どんなに厳しい冬でも、霜が降りたり雪が降ったりする日が続いても、必ずやがて今年も暖かい春がやってきます。名実ともに春はもうすぐそこまで来ています。あと少しです。負けないで頑張ってください。

2番目は「苦しめば苦しむほど、悩めば悩むほど、その後に訪れる喜び、充実感は大きくなる」ということです。

今、皆さんは落ち着かない気持ちや不安な気持ちを抱えながらも、自分の持てる力をフル稼働させながら、進路決定に向けて努力を続けているはずですが、本当に不安で辛いと思います。でも、私があえて皆さんに言いたいのは、この時期、苦しめば苦しむほど、悩めば悩むほどに、後で得ることができる喜び、満足感は大きくなります。その後の皆さんが生きていく上での自信や活力につながるはずですが、ぜひ、この時期、大いに悩み、苦しんでください。ただ、どうしても抱えきれないときは、早めに家族や先生、友達などに相談してください。

3番目は「決定した進路が自分にとって最良、最適の進路である」ということです。

最終的に決まった進路が、第一希望ではなかったという人が出てくるかもしれません。ただ、大切なことは与えられた場所で、どのように目標を定め、その目標の実現に向けてどのような努力をするかです。

第1希望に進学・就職できたとしても、そのことで安心してしまい目標を失い、何の努力もしなければ成長は止まってしまうし、何も得ることはできません。大切なことは、与えられた場所が自分にとって一番居心地の良い場所、自分に一番あった場所であると理解して、前向きに努力を続けることです。そのようなプラス思考をして、努力を続けることで自分を大きく成長させることができますし、可能性も大きく広がっていきます。与えられた場所で最善を尽くすことの大切さを心に留めておきましょう。

さらに、寒さは厳しさを増していきます。コロナやインフルエンザの感染症対策をしっかりと行い、体調管理には十分気をつけながらラストスパートです。がんばってください。

3年生にとって、また、保護者の皆さんにとっても進路決定という3年間で一番つらく苦しい時期を迎えています。しかし、出口のないトンネルはありません。トンネルを抜けると春が待っています。もう少しの辛抱です。一緒に頑張ってください。

【学校教育目標】

夢と志をもち、主体的に学び考え行動し、心豊かでたくましい生徒を育成する。

1つ目「自分で考える」こと。

2つ目「対話する」こと。

3つ目「あきらめずに続ける」こと。